

12/8 金日

# 高齢者の医療担 調査会推進

## 自公綱引き 検討会また見送り

政府は7日、75歳以上の高齢者が医療機関で払う窓口負担を1割から2割に引き上げる制度改革を巡り、

政府は7日、75歳以上の高齢者が医療機関で払う窓口負担を1割から2割に引き上げる制度改革を巡り、

議が難航しているためで、両院の幹事長、国対委員長までが調整に乗り出す異例の事態となっている。

全世代型社会保障検討会議（議長・曹義偉首相）の同

首相は7日、自民党の二

階後博幹事長、森山裕国対

委員長らと政府と党連絡会議後に会談し、「与党とし

水準を520万人が対象の

を巡る国民、公明両党の協議が難航しているためで、議が難航していなかったが、議院はその後の記者会見で「理解が得られるような案、自民党としても、これならばどう案を考えていきた

い」と述べた。

政府は線引きとなる所得

見送りは4日に続き2回連続。対象者の所得の線引き

議後に会談し、「与党とし

水準を520万人が対象の

年収170万円以上（単身世帯）としたい考え。公明党は対象者が200万人とより少ない同240万円以上を主張。両党政調会長による調整が行き詰まり、4日からは両院の幹事長、国対委員長による調整に移った。日曜の6日夜にも異例の協議を行ったが合意に至っていない。

公明党の山口那津男代表は7日の連絡会議後、記者団に「かたくなとそれ（240万円以上案）にじだわつていいことでは必ずしもな

い」と述べた。

政府は線引きとなる所得

見送りは4日に続き2回連続。対象者の所得の線引き

議後に会談し、「与党とし

水準を520万人が対象の

な姿勢を見せた。しかし、首相は4日の記者会見で「幅広く負担できる方を増やしていく、将来の若い世代の負担を少しでも減らしていくのが大事だ」と、政府案にこだわりを示している。

自民党的下村博文政調会長は7日夜のBS-TTBSの番組で、政府は当初、医療費の改革案について8日に閣議決定の予定だったとした上で、「それを延ばして来週の火曜日（15日）に（閣議決定）する予定で今進めている」と述べた。【野間口陽、東久保逸夫、横田愛】